



「支え合い連絡会」ホームページ <http://www.katuradai.com/>

vol. 12

いつ起こるかわからない地震！！ だからこそ備えよう 我が街のボランティアグループの 防災活動



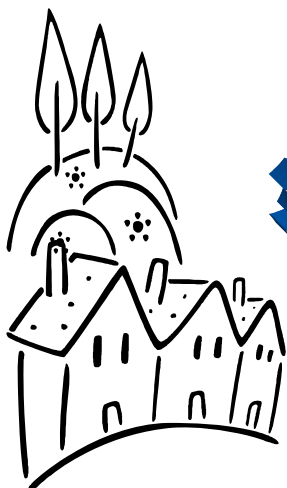
昨年から今年にかけて、大規模な自然災害に見舞われ続けている日本列島。たび重なる集中豪雨と観測史上最多の台風上陸。そして新潟県中越地震をはじめ、福岡県西方沖地震、宮城県沖地震と、その被害は深刻です。

そして、私達の町でも、いつこのような自然災害に見舞われるかわかりません。大切なのは日頃からの備えと、心構えです。普段からの備えとして「個人や家族の防災対策」そして「地域の防災対策」。この2つの組み合わせを備える事により、より多くの人々が災害から身を守る事が出来るのではないのでしょうか。

昨年起こった台風22号（10月9日）により柏尾川が増水し、笠間地区や長尾台地区において床上浸水の被害が出ました。その時に活動に入られたボランティアグループを中心に取材させていただきました。ご自分達の体験を踏まえて、災害時にはどのようなボランティア活動が期待されるのか、また今後の課題などについてもお話をうかがいました。是非皆さんが個人または地域で防災対策を考える際の参考にいただければ幸いです。

目 次

災害時、活躍が期待されるボランティア団体	2p～5p
前号広域避難場所 訂正とお詫び	6p
第14回桂台地域ケアプラザ 支え合い全体会 報告	7p
親子フェスタ開催予定、編集後記	8p



災害時、活躍が期待される ボランティア団体 まちぐるみで災害を生きぬくために

前号の「ひろば」11号では、「栄区の災害対策の現状と災害発生時の公的機関の役割」について特集いたしました。今回は、「災害時、活躍が期待されるボランティア団体」をテーマに現在、栄区で活躍をされている次の7つのボランティア団体・自治会に、災害発生時にどのような活動を考え準備しているかについてお話をうかがいました。いずれのグループも日頃のボランティア活動・自治会活動を通して、地域の情報を把握している専門家集団であり、何にも増して気心の知れた人間関係とチームワークを存分に生かして、災害発生時にめざましい活動をされることと期待されております。

- ・ いでたち(生活支援活動の男性グループ)
- ・ たんぽぽ(生活支援活動)
- ・ 湘南桂台自治会(1504世帯)
- ・ パソボラ横浜(市民へのパソコン普及活動)
- ・ グループ桂台(生活支援活動)
- ・ 上郷西連合町会(約3800世帯)
- ・ 尾月自治会(約400世帯) (順不同)

なお、取材に先立ち、次の8項目の設問を用意しました。

- ① 過去の災害時にどのようなボランティア活動を行いましたか。その経験を通して、どう感じましたか。何が必要と思われましたか。困ったことは何でしたか。
- ② 今後の災害発生時にも、貴団体として何らかのボランティア活動をしたいと思えますか。それはどんな活動ですか。グループの中で準備体制などについての話し合いをしていますか。
- ③ 貴団体の活動から見て、この地域での災害発生時の課題は何だと思われませんか。
- ④ 実際に災害ボランティア活動を行う上での課題は何だと思われませんか。
- ⑤ 災害時に地域住民に期待することはどんなことでしょうか。
- ⑥ 公的な防災組織や行政とのかかわりについて、どのようにお考えですか。過去にかかわりを持ったことがありますか。
- ⑦ 高齢者や災害弱者への対応について、どのようにお考えですか。
- ⑧ その他、経験を通して気のついたことがありましたら、お聞かせください。



災害ボランティア活動の備え いでたち (成田眞啓代表)

昨年の柏尾川氾濫時のボランティア体験、引き続き発生した中越地震の体験や代表の成田さんが横浜災害ボランティアネットワークにかかわっていて、防災に対する意識が高かったことなどにより、「いでたち」として取り組むことにしました。9月には「いでたち」内で検討チームを作り、「災害ボランティア活動の備え」について話し合いを持ちました。現在、「いでたち」の会員51人は栄区内に住んでおり、個々のボランティア活動や町内会の役員などの活動を通して、地域の様子を良く知っている人々です。“いざ”の時、「いでたち」会員相互を結ぶメールやファックス網を活用し、速やかに被

災地情報を収集共有して、災害ボランティア活動に備える体制づくりを検討しています。日頃から蓄積してある地域情報を最大限に生かして、被災地域の組織だった活動を側面から支援していきたいと思います。その際、「いでたち」として、ボランティア活動拠点へ参集、ボランティア団体・関係団体などと連携して活動を展開して行きたいと考えています。

=====いでたちは=====

「いでたち」は住みよい地域社会を創るため、ボランティア活動と情報交換および会員相互の親睦を目的としている栄区の男性ボランティア団体です。

<http://members.at.infoseek.co.jp/idetachi/>

防災組織体制のネットワークを作りたい たんぽぽ (大森真由美代表)

今後の防災の課題について、「一人ひとりの住民に危機意識が足りないことが一番気になります。例えば、家具の転倒点検及び対策や家族間の話し合いなど、まず身近な事柄から手掛けて行って欲しい。これらを進めるうちに、災害弱者や周りの課題も自ずと見えて来ると思います。たんぽぽの会では家具の転倒点検表や転倒対策工事など会報を通して、各自が具体的に実践出来るよう啓発しています」と話されました。

また、行政や公的機関に対し防災組織体制の連携が不十分な点を指摘し、少しでも改善、意識高揚になればと色々な機会をとらえて、発言しているそ

うです。

「地震はいつ起こるかわかりませんから、一刻も早く防災組織体制のネットワークを作りたい。そのためには私にできることは協力したいと思っています」と熱っぽく語ってくれました。

=====「たんぽぽ」の会員数215名。=====

高齢者・中途障害の方・障害のある方・お元気な方も区別なく、それぞれが出来る範囲で活動に参加しています。自主活動として◆デイサービス「ピエロの日」(毎月第1・第3水曜日)◆「しゃべり場とまと」毎週金曜日◆会報「綿毛」年6回発行 など。

<http://www.ne.jp/~m-oomori/>

高齢者の救援が最大の課題 湘南桂台自治会 (梅津三彌会長)

過去、災害時に自治会として活動した経験はありません。しかし、自治会のみなさんからの義援金を持参して、新潟県中越地震被災地へ赴いた時の体験も生かし、今後想定される災害にも備え種々の取り組みをしています。

この地域は、水害や崖崩れなどの心配は少なく、地震災害などでは高齢者の救援が最大の課題と考えています。今年も全世帯ご協力のもと72歳以上の“敬老のつどい”対象者を中心に把握しました。

一方、災害時に地域住民の力が発揮されるよう、全戸配布の災害時連絡網の活用や、ブロック(地域は10のブロックで構成)毎に防犯を中心とした“安

心パトロール”を毎月2回程度行い、近隣住民同士が顔の見えるお付き合いが出来るように心がけています。

また、年1回の自治会一斉防災訓練では極力形骸化しないよう、今年度はイトーヨーカドーとの共同避難訓練のほか、起震車による地震体験や各戸備付けの非常持出し品を持参してもらい、今の時代に合った内容かの再点検をしました。

幸い、栄消防署のご支援で市消防局音楽隊、ポートエンジェルズ119のドリル出演も加わり200名を越える人々が貴重な時間を共有化しあいました。

パソコンで現地の様子などを知らせる パソボラ横浜 (山本邦夫前代表)

山本邦夫さんも柏尾川が氾濫した時に駆けつけた一人でした。「水浸しの畳を運んだり、安否の確認に行ったりと、活動しているのが高齢者ボランティアばかりで驚いた」と当時の様子を語る山本さん。現在パソボラ横浜の特別顧問として、またボランティア連絡会・福祉のつどい地震対策研究会の座長として地域の防災活動にかかわっています。「パソボラ横浜としては、イザと言う時パソコンの通信機能を活用して、いろんな連絡をとったり、現地の様子や安否確認の情報を知らせることが大切な役目だと思っています。今のうちに区民を中心とした防災ネットワークを作り上げ、緊急メールリストを作成したい」と語る山本さん。始まったばかりの地震対策研究会については「昨年策定された栄区地域福祉計画を基に、行政の方も交え、区民として、ボランティア団体として何が出来るかを考え、行政に協力して行きたい」そうです。

最後に山本さんから「横浜市は大地震に備え『東

海地震事前対応計画』を作成していますが、本当にこの計画がいざというときに機能するのか、区民の皆さんがそれぞれに自分でシカと確認してください。そして自分や愛する家族の問題として考えてみてほしい」との呼びかけがありました。地震対策研究会はその後「地震対策情報館」というホームページを立ち上げました。皆さんで是非ご覧になって欲しいと山本さんからの伝言です。

http://www5.ocn.ne.jp/~houzan/bousai_kenkyukai.htm

=====「パソボラ横浜」=====

パソコンの活用を広めるために中野地域ケアプラザと栄区福祉保健活動拠点を会場にして毎日パソコン教室を開催中。また月一回第3土曜日には無料相談会や出張指導も行っている。

会員数 500人、講師 37人。

<http://www6.plala.or.jp/phama/>



地域でお互いに助けあう心を育てましょう グループ桂台 (中村涼子代表)

平成16年の台風の時栄区ボランティア連絡会からの要請を受け、笠間町の水害後始末のお手伝いへのべ15名が参加しました。今後も災害時の活動として、出来る事があれば、協力していきたいと思えます(例えば片付け、相談相手、お子さん預かり等)。地域の中での課題は、「一人暮らしや二人暮らし高齢者世帯」「共働き家庭の子ども」「ペット」等の対応です。ボランティア活動を行う上での課題は「人材確保」「コーディネーター機能の充実」です。また、自治会との連携もとても重要で、協力的

制を組む事により、まとまりある活動ができます。しかし、自治会と各団体との話し合いは行われていないのが現状です。笠間の件では、行政との連携も上手く取れませんでした。各関係機関と連携を取っていくことは今後の大きな課題になってくるでしょう。

まずは、地域の中でお互いに助け合う心を持ってもらう事が大切です。当日は自分の事で精一杯ですが、少し時間が経った時、周りを見る余裕が出来る事を期待します。

笠間の時にもっとも感じた事は、友人に声をかけたら、当グループでない方も快く応じて下さり、日頃からのお付き合いの大切さを実感しました。

=====グループ桂台とは=====

乳幼児から高齢者、障害者までの生活支援を活発に行い、月230件もの利用があり、その調査研究も行っている。昨年の水害では、現場に入り込み支援の中心的存在となった。平成16年、平成17年に発行した冊子「高齢者の施設案内Ⅰ・Ⅱ」は好評。



「向こう三軒両隣」の精神で 上郷西連合町会 （本多淳一会長）

連合町会は、当該地域で活動する自治会、町内会などの集まりで、情報交換や共同運営事業での調整弁的な役割を担うが、防災の実活動は行なっていません。

幸いにして今まで、災害に遭遇していないが、この地区で最も心配されるのは、雨と風であり、強風で屋根瓦が剥がれる、看板が飛ぶ、雨によって家財が被害を受けることや、駅からのバスの便が道路の冠水により、ストップすることです。

災害に備える方策としては、消防署上郷出張所を拠点に防災対策を築き、自主的な防災活動を展

開することや地域の特性を生かした植栽、看板、電柱の状態、道路事情などの災害マップ作りが有効だと考えています。「いざ」のとき一番必要なことは、「向こう三軒両隣」の精神で助け合うことにつきますが、高齢化の進行と共稼ぎ世帯の増加で子供と老人中心の町となる昼間時間帯、にどのように備えるかも重要な課題であります。

高齢者や災害弱者対策として、地域の情報が必要ですが、「個人情報保護法」の施行により、情報パイプが閉ざされ、活動にブレーキがかかっているのも現状です。

尾月自治会の新しい試み （堀内大介会長）

尾月自治会では、平成17年7月24日に地域で活躍する15団体と自治会役員とが一堂に集まりました。その席で、発災時に各団体がどの様に活動できるか話し合おうと提案されました。自治会としては、地域で活動する団体は専門家集団だと考えています。また各団体は特殊な技能があり、仲間同士のコミュニケーションも密で、いざと言う時には大きな活動力を発揮してくれると考えています。連絡網もあり、頼があれば、即座に何人の人が動員できるか判断でき、何よりも強いのは、地域を熟知している事です。自治会役員は1年交代だが、活動団体は継続性のある組織なので、経験や情報

の蓄積も出来ます。

例えば、『高齢者サロン「青葉」』は、地域の高齢者がどこにいるのか知っており、実際にあった震度5の地震の際も、何軒かの高齢者宅に駆けつけたとの事。また「森の会」では、日頃の里山作業で倒木等の扱いに慣れており、庭木を整理して高齢者の誘導に活躍出来ると考えています。運動部は、自慢の体力で連絡係などを買って出てくれるだろうと期待しています。

この試みは、着々と計画されており、秋には2回目の会合を持つ予定だと言う。

（順不同）

取材を行っての感想 広報分科会

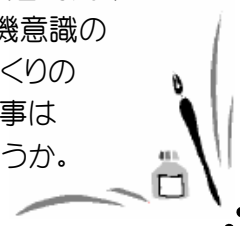
● 昨年の台風22号での災害時に、実際にボランティア活動をされたグループを中心に、取材を行いました。普段はそれぞれ専門のボランティア活動をされているグループなので、災害に特化された活動グループではもちろんありません。しかしどのグループも自分達の専門性を生かしながら、災害時にどのような活動が出来るか、真剣に考えていらっしゃるという事が、取材をして再確認する事が出来ました。

● 今回取り上げた湘南桂台自治会や尾月自治会のように、組織だってボランティア団体等と有事の取り組みを検討し始めた自治会は、他にもある様に伝え聞きました。高齢者人口が多くなる昼間

● の時間帯の対応が一番の大きな問題と考える団体も多く、昨年の笠間地区の浸水が契機となって検討を始めた組織も多かった様です。

● どのグループも口を揃えてお話していたのは、「地域の中でのネットワークづくり」、「行政との協力体制の構築」「向こう三軒両隣の精神」この3つの大切さでした。

● まだまだ始まったばかりの、災害時対策ですが、今後も住民一人ひとりの危機意識の啓発と、各組織のネットワークづくりの一環を担ってくれる方々である事は間違いないのではないのでしょうか。



訂 正 と お 詫 び

「ひろば 11 号」で特集した「避難場所一覧」に誤りがありました。ここに訂正するとともに、お詫び申し上げます。

(参考資料:栄区発行/大地震を生きぬくために/1997 栄区防災計画)

[栄区地域防災拠点一覧]

地域防災拠点小中学校名 (所在地)	該当自治会町内会名
千秀小学校 (田谷町 1832)	金井、田谷、長尾台
豊田小学校 (長沼町 125-4)	コープ野村戸塚長沼、長沼、かいがら坂ハイツ
飯島中学校 (飯島町 746-1)	飯島の一部、飯島ひかりが丘、芙蓉台ニューシティー本郷台パークヒルズ
飯島小学校 (飯島町 771-2)	飯島の一部、飯島団地
小管ヶ谷小学校 (本郷台 4-31-1)	飯島の一部、富士見台親和会、百合ヶ丘、本郷台の一部、栄リベラヒルズ、みど野ハイツ
本郷台小学校 (本郷台 1-6-1)	本郷台の一部、小管ヶ谷第一の一部、鍛冶ヶ谷の一部
笠間小学校 (笠間 3-28-1)	大船パークタウン、笠間商店街、笠間西南、笠間田立、笠間中央、笠間福住、第2大船パークタウン、第3大船パークタウン
西本郷中学校 (小管ヶ谷 1-29-1)	笠間上町、笠間山王、笠間通り町、笠間宮上、ライブタウン大船、笠間、笠間余曽根、恒陽大船マンション、国家公務員大船住宅、ニュー大船、松が丘
西本郷小学校 (小管ヶ谷 2-22-1)	春日、小管ヶ谷五月会、小管ヶ谷、小管ヶ谷睦会、大船富士見台、コープ野村本郷台、桂公田の一部
小山台小学校 (小山台 1-15-1)	小管ヶ谷第一の一部、本郷台中央、小山台、東武本郷台、鍛冶ヶ谷の一部
本郷中学校 (桂町 84-14)	市営小管ヶ谷第2、市営小管ヶ谷住宅、市営本郷台住宅、本郷台駅前市街地住宅、南小管ヶ谷住宅、桂、コープ野村湘南本郷台、桂公田の一部、中野の一部、鍛冶ヶ谷の一部
公田小学校 (公田町 354-3)	朝日平和台、公田ハイツ、桂郷台、湘南ハイツ、地崎工業、桂公田の一部、グリーンテラス本郷台
桂台小学校 (桂台南 1-1-1)	NEC アパート、桂台団地、公田町団地、桂台、湘南桂台の一部
桂台中学校 (桂台中 5-1)	湘南桂台の一部
矢沢小学校 (桂台南 2-34-1)	湘南桂台の一部、犬山の一部、上之町の一部、上郷ネオポリスの一部
本郷小学校 (中野町 16-1)	桂公田の一部、鍛冶ヶ谷の一部、本郷富士見ヶ丘、中野の一部、上郷の一部
桜井小学校 (上郷町 242-2)	鍛冶ヶ谷の一部、港南台プリンスハイツ、元大橋、若竹、若竹山手、ラーパン港南台、上郷の一部
犬山小学校 (犬山町 6-1)	フローラ桂台、湘南桂台の一部、犬山の一部、尾月、上之町の一部、亀井町、上郷の一部
上郷南小学校 (庄戸 1-15-1)	上郷の一部、庄戸1丁目、庄戸2丁目、東上郷青葉ヶ丘、上郷台共同住宅、みどりヶ丘
庄戸中学校 (庄戸 3-1-1)	上郷の一部、庄戸3丁目、庄戸4丁目、庄戸5丁目、長倉町
野七里小学校 (野七里 2-3-1)	上郷西ヶ谷団地、上郷西ヶ谷ハイツ、港南台コートハウス、上郷の一部、上郷ネオポリスの一部

[栄区広域避難所一覧]

避難場所 [総面積 (㎡) / 収容定員 (人)]	割り当て地区 (ブロック名)
山手学院一帯 [191,500/104,100]	若竹町、元大橋1~2丁目
公田団地 [98,100/56,000]	公田町の一部、中野町の一部、桂台北、桂台中、桂台西1~2丁目、桂台東、桂台南1丁目、桂台南2丁目の一部
本郷台駅前一帯 [228,300/129,300]	鍛冶ヶ谷町の一部、鍛冶ヶ谷1丁目の一部~2丁目、小管ヶ谷町の一部、小管ヶ谷1~3丁目、小管ヶ谷4丁目の一部、桂町、本郷台1~2丁目、本郷台3丁目の一部、4~5丁目、小山台1~2丁目、柏陽、笠間町、笠間1~5丁目
飯島団地 [151,700/71,800]	飯島町の一部、長沼町、本郷台3丁目の一部
金井公園 [48,800/36,400]	長尾台町の一部、田谷町の一部、金井町の一部
鎌倉カントリークラブ [482,200/418,500]	上郷町の一部、庄戸1~5丁目、長倉町、東上郷町、上之町、亀井町、野七里1~2丁目、尾月、犬山町、桂台南2丁目の一部

[栄区地域医療救護拠点]

医療救護拠点	担当する主な地域防災拠点	医療救護拠点	担当する主な地域防災拠点
飯島中学校	豊田小学校、千秀小学校、飯島小学校、飯島中学校	桂台中学校	公田小学校、桂台小学校、桂台中学校
西本郷中学校	西本郷小学校、西本郷中学校、笠間小学校	上郷中学校	桜井小学校、犬山小学校、矢沢小学校
本郷台小学校	小山台小学校、小管ヶ谷小学校、本郷台小学校	庄戸中学校	上郷南小学校、庄戸中学校、野七里小学

第1回「桂台地域ケアプラザ本郷中央地区支え合い連絡会」全体会 報告

平成7年9月29日第1回「桂台地域ケアプラザ本郷中央地区支え合い連絡会」全体会が開催されました。5つの分科会の方々(地域福祉関係者、ボランティアグループ、子育て支援、地域づくり、広報)や、行政、区社協職員、そして今回は17自治会の会長にも参加して頂き、総勢41名の出席となりました。今回が初めての本郷中央連合地区単独の支え合い連絡会となります。これまでの経緯と今後の方向性について話し合いました。

◆横浜市桂台地域ケアプラザの役割と地域とのかかわり◆

ケアプラザは「在宅介護支援センター」「居宅介護支援事業」「通所介護事業」「地域交流事業」の4つの事業を行っている。そして、子育て支援から高齢者支援まで幅広く相談を受け、専門機関に繋がったり、地域のグループをつくるお手伝いをしている。来年度は介護保険事業見直しの年なので、予防の視点を持ち、取り組んでいく。また、地域の方々ケアプラザを知る事により、民生委員や地域福祉関係者とのかかわりが深まり、相談件数が伸びてきた事を、在宅介護支援センターはこれまでの6年間の事例を上げながら説明をした。

◆「桂台地域ケアプラザ本郷中央地区支え合い連絡会」の振り返りと今後の方向性◆

●設置目的

地域の中の団体と団体、人と人を結びつける事が目的であり、地域の問題を共有する事、そして解決に向かって一緒に進む事を促進する会である。

●今までの取り組み

平成12年より地域の150名程の方々にご協力いただき、ヒアリングを行う。ボランティアグループの活動や地域福祉役員、自治会の活動を参考にしながら「子育て支援」「高齢者支援」「世代間交流」「ボランティアグループ間の連携」の4つのテーマが見えた。そのテーマに沿って5分科会①地域福祉関係者分科会②ボランティアグループ分科会③子育て支援分科会④地域づくりの会⑤広報分科会、が立ち上がった。その中で、各分科会からテーマ(地域サロンづくり・子育て支援・ネットワークづくり)が出され、支え合い連絡

会にて共通課題として話し合われる。

●今後の方向性

「安心・安全な町づくり」のための5つの提案

- (1) 行政・ケアプラザは地域の方達がケアプラザと地域支え合い連絡会を理解出来る様に努める必要がある。
- (2) 支え合い連絡会と自治会の繋がりを深める。
- (3) 地域課題の解決に結びつける為、協働する事が必要。
- (4) 各分科会の横の繋がりを深める。
- (5) 支え合い連絡会のテーマ(地域課題)の焦点を絞り込む。

◆地域見守りネットワーク事業について◆

行政から補助金を受けて行う事業であり、各地域の実情に合った形でのネットワークづくりを行っていく。近隣での支え合いがベースになるが、「訪問による見守り」と「活動参加による見守り」の2通りの見守りの形があるのではないかと。今後、支え合い連絡会の中でも検討していく。

◆意見交換◆

● 出席要請に従い参加したが、何をしていけばいいのか困惑してしまう。会長が出席していくよりは、実働できる人材をこのような会に参加してもらう方が現実的なのではないか。

● もう少し事務局部隊が連携し、わかりやすいネットワークづくりを説明して欲しい。

● 自治会はお金も人もない中で、活動しなければならぬ。などの意見が自治会の方々から出された。



今回の大きな目的としては、自治会にまずケアプラザの存在と支え合い連絡会の取り組みについて、知っていただく事が大事だと思っている。この会議をスタートラインとして、本日は話された内容を検討し、今後の支え合い連絡会の会議の持ち方、自治会町内会への情報伝達の方法、見守りネットワークの立ち上げ方について参考とさせていただき、さらに活動を広げていきたい。

桂台おやこフェスタ



H17. 11. 20 (日)
桂台地域ケアプラザにて
11時30分～15時

～ ママたちによる みんなの出会いのためのイベント ～

“子育てって大変” “相談できる人がいない” そんな育児中のママたちが、桂台地域ケアプラザの井戸端サロンに参加することで、仲間づくりをし、交流の輪を広げてきました。

2回目を迎える「桂台おやこフェスタ」は、母親たちの<知恵>と<パワー>と<和>の結晶です。昨年好評だったコーナーをさらに充実させ、新コーナーと共に登場します。どうぞお楽しみに！

★キッズ&マタニティ「とりかえっこ」★

12:00 ～ 14:50

15日～19日に不要になった子供服などを引き取り、数に応じてチケットをお渡しします。フェスタ当日は、お手持ちのチケットと希望の品物を交換できます。豊富な品揃えにご期待ください。チケットのない方も14:～ご利用できます。欲しかったもの、すてきなグッズにきっと出会えるでしょう。

★喫茶コーナー「おやこカフェ」★

10:00 ～ 13:00

ママたちが心をこめて焼き上げたパン&クッキーを、飲み物とセットでお召し上がりいただけます。やすらぎの「カフェ」で、“ほっ”となひとときをお過ごしください。前売り券のお求めをおススメします！

★ビーズ教室★

10:30 ～ 11:30

かわいいリングを作って、キュートなおしゃれを楽しみませんか？ 公園にお買い物にお出かけが待ち遠しくなりますよ。受講料は700円。定員10名です。お早めにお申し込みください。小さいお子様がいらっしゃる方は託児も承ります。

★キッズイベント★

12:30 ～ 14:50

「桂台保育園」の先生方による<手遊び・絵本の読み聞かせ>と、「ほしのこひろば」の大泉さんたちによる<手作り紙芝居>という豪華2本立てのプログラムです。親子が共に楽しめる、ふれあいの空間です。

★情報コーナー★

12:00

～14:50

地域の育児情報がひとめでわかる貴重なコーナーです。栄区内の育児支援団体・施設・行政機関の協力を得て、豊富なパンフレットやチラシを公開しています。当日は保育園の先生にもお越しいただき、相談コーナーを設ける予定です。どんどん情報をゲットし、充実した育児活動にお役立てください。

次の時代を担うかけがえのない子供たち・大切に育むお母さんたちを、地域のつながりの中で見守り、応援していきたいと思っています。多くの皆様のご来館をお待ちしております。

<お問合せ> 桂台地域ケアプラザ 地域交流・子育て支援分科会

TEL 897-1111 (楠原、木下、佐川、高橋、石黒)

編集後記

☆不安だらけのスタートでしたが、一つの目的に向かって皆で四苦八苦しながら、作り上げました。(T.K)

☆これで防災に2回目の取り組み。すごく具体的な問題なのに、現実是对応がバラバラ。人間は基本的に楽天的にできているのだろうか。災難に遭遇してから切り抜ければ良いのだと考えると納得できるのだが。それでは『防』の字が意味を持たなくなる。(J.N)

☆ 義母の死後8年、家財の整理に取り掛かった。山積みの不用品。普段からこまめに捨てる習慣を。これぞ防災の第一歩なのかも。(H.N)

☆取材時はいつも緊張します。取材を受けられる皆様のご協力に感謝しています。(T.U)

☆安全な地球を子孫に引き継ぐには、今私たちは何をすべきなのか真剣に考えさせられました。(K.I)

☆近所に一人暮らしの老人が増えてきた。女性は特に元気はつらつとしている。しかし災害が起きた時は心細いに違いない。「向こう3軒両隣」、助け合いの気持ちを肝に銘じたい。(R.S)

☆災害時の為にただ漠然と考えていた事を身近な備えに繋げなくてはと心に感じています。(K.T)